

ひょうご

子ども未来通信 10月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw09/hw08_00000002.html

■県少子対策本部が4年間の取り組みを総括（9月8日）



兵庫県少子対策本部(本部長 井戸知事)は、17年8月の本部設置以降の4年間の取組状況を報告。同日の定例記者会見で、知事は「平成18・19・20年は、目標である年間5万人に近い水準で横ばいに推移しているが、21年の婚姻数は前年同期を上回っており、今後の出生数の増加に期待をしたい」とコメント。なお、現在、新ひょうご子ども未来プラン策定に向け、県内各地でリレートークを開催し、ご意見を募集しています。

(問) 県少子対策課 078-362-4183

■飲食業生活衛生同業組合と子育て応援協定を締結（9月8日）

県内の飲食事業者等約1,600店舗が加入する同組合と協定を締結。知事が「子育て支援に積極的に取り組もうとされることは、誠に心強い」と挨拶。入江眞弘・理事長は「組合での子育て応援事業の取組を順次進めていきたい」と表明。

(問) 県少子対策課 078-362-4184



■新型インフルエンザ対策 ～県医師会・県がフォーラムを開催（9月19日）～

兵庫県医師会と県は、神戸市内で新型インフルエンザをテーマに、西尾利一・(財)先端医療振興財団先端医療センター病院長が「新型インフルエンザに備えて」と題して講演。パネルディスカッションでは、医、薬、看護、保育団体の代表者が現場での取組などを紹介。今後も、保育所・幼稚園の職員や保護者を対象とした講座などを各地域で40回ほど開催していきます。

(問) 県少子対策課 078-362-4185



「子育て応援ネット全県大会」参加者を募集

県は、地域ぐるみで子育て家庭を支援する活動事例を発表して、地域の子育て支援について考える「子育て応援ネット全県大会」の参加者を募集します。(問) 県少子対策課 078-362-4185

◆日時:10月19日(月)13:00~15:30 ◆場所:兵庫県公館 大会議室

◆内容: ・「子育て応援ネット」の活動事例発表
 ・講演:「地域ぐるみの子育て支援の新たな展開
 ー拠点における支援システムの可能性を探るー」
 講師 伊藤 篤氏(神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授)

参加費無料



「まちの寺子屋師範塾」受講生を募集



県では、県内 18 大学（22 講座）との連携のもと、様々な子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」を開催しています。

今回は、神戸大学はじめ 5 大学 6 講座を紹介。修了生には、「まちの寺子屋師範塾修了証」をお渡しします。若干の空席がありますので、ぜひご参加ください。詳しくは、「兵庫県 師範塾」で検索できます。

※受講料：無料（講座によっては教材費の実費負担あり）
※締切は各講座初回の前日（ただし先着順）

神戸大学

地域における子育て支援を学ぶ
地域の実情を交えながら、様々な視点から子育て支援について学びます。
10/24(土)・25(日) 全 5 回

神戸山手大学

高齢社会におけるシニアの社会参加 など
シニアに期待する地域教育力の再生などについて学びます。
① 10/16・23・30 12/4・11・18
(いずれも金)
② 11/25 12/2・9・16 H22 年 1/13
(いずれも水) 全 7 回

近大姫路大学

子どもの未来と子育て支援
いかに地域に密着し、子育て・子育てを進めていくかを一緒に考えます。
11/14・21・28 12/5(いずれも土) 全 5 回

兵庫大学

東播磨のウェルネスのために
北欧の高齢者の豊かな人生の過ごし方などについて学びます。
H22 年 1/28 2/4・11・18・25
(いずれも木)

神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部

子育てと健康
こどもの事故と応急処置についてなど、実際に役立つ知識を学びます。
11/21(土) 全 4 回

◆兵庫県立大学(自然・環境科学研究所)での師範塾



テーマ

自然を楽しみながら学ぶ方法

9/3・10・17・24 の計 4 回

最終回には、15 名に修了証を交付

なお、下記の13大学については、既に募集を終了しております。

兵庫県立大学、神戸親和女子大学、関西福祉大学、園田学園女子大学、姫路獨協大学、芦屋大学、神戸女子大学、兵庫教育大学、神戸女学院大学、甲南大学、夙川学院短期大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸学院大学

(問) 県少子対策課 078-362-4185

■子育て応援協定企業が14団体498企業に <平成21年9月29日>



県は、子どもを安心して生み育てられる環境作りに向け、9月18日、子育て応援協定締結式を実施し、株式会社アーク設計をはじめ、子育て家庭を応援する企業80社と協定を締結しました。

(問) 県少子対策課 078-362-4184

■生活協同組合連合会大学生協神戸事業連合と子育て応援協定を締結(9月18日)

学生組合員等約75,000人が加入する同連合と協定を締結。井内義臣・理事長は「この協定締結により、10大学で子育て支援事業を実施していく」と決意表明。清原・県理事兼少子対策本部事務局長は「子どもたちと共に生きる社会をめざして、協力していきましょう」と挨拶。

(問) 県少子対策課 078-362-4184



～子育て応援協定締結企業の取組紹介～

★アップル歯科クリニック(明石市)

代表者名：院長 吉見哲朗

従業員数：9人

協定締結日：平成21年8月21日

こんな取り組みをしています！

- ◆ キッズルームを完備し、親御さんが受診中、お子さんをお預かりしています。
- ◆ 地域の保育所で虫歯予防指導を行っています。
- ◆ 明石市子育て支援課に寄附をしました。
- ◆ お子様にごちゃごちゃのおもちゃをプレゼントしています。



■全国地域活動連絡協議会指導者研修会(東海・近畿・北陸ブロック)を開催(9月10・11日)

母親クラブなど子どもたちの見守り活動を実践している地域活動組織が、研修会を神戸市内で開催。各府県の活動報告後、清水勲夫・(財)OAA 専務理事・事務局長がグループ活動に必要なリーダーシップ、小崎恭弘・神戸常盤大学短期大学部准教授が子どもの健全育成に大切な遊びの環境などについて講演。

(問) 県立こどもの館 079-267-1153



■読み聞かせ指導者養成講座を開催（9月9・10・15・16日）



県立こどもの館は、児童館などで読み聞かせによる子育ての輪を広げる指導者の養成講座を尼崎市で開催。佐藤厚・上田女子短期大学教授の指導のもと、約50名が絵本の世界を子どもたちに伝える方法を実技形式で学びました。（問）県立こどもの館 079-267-1153

助成金の情報 ※詳細はお問い合わせください

商店街の空き店舗等を活用した「子育てほっとステーション」の設置者募集

締切：10月16日

商店街の空き店舗等を活用して、親子がくつろげるたまり場「子育てほっとステーション」を設置・運営する団体に助成

- ◆対象者：商店街・小売市場団体、NPO法人等
- ◆実施場所：商店街・小売市場の空き店舗等
- ◆助成金額：1団体あたり150万円限度
- ◆対象経費：内装・設備・施工工事費、借料、イベント開催費等

地域で子育て支援に取り組む助成団体を募集

締切：10月7日

NPOや地域団体等が実施する子育て支援事業に対し、経費の一部を助成

- ◆対象事業：親子の仲間づくり、子育て相談、子育て支援イベントの開催等
- ◆助成金額：1団体あたり20万円限度
- ◆対象経費：講師等謝金・旅費、資料作成費等（家賃、光熱水費、団体人件費、飲食費等は対象外。既存事業の費用充当は不可）

（問）県少子対策課 078-362-4185

団体の活動紹介

■社団法人 西宮青年会議所 ～にしのみやTERAKOYAの実施（9月12・13日）～

西宮青年会議所は、「まちの寺子屋」として、感謝する心と思いやる心の育成を目指し、「にしのみやTERAKOYA」を開催。子どもたちは、お寺での座禅体験や西宮の伝統・歴史について学習するとともに、戦艦大和の元乗組員の講話を聞き、平和といのちの大切さについて親子で考えました。

（問）社団法人 西宮青年会議所 0798-33-1615



■子育て支援グループキララ（三田市）～安心して笑顔で子育てするためのお手伝い～



子育て支援グループキララは、市主催の保育サポーター養成講座修了生が集まり、平成13年から活動。リフレッシュのための託児付き講座、小学生の土曜日の居場所づくり、保育者のスキルアップ講座などを行っています。小さなグループだからこそできる“隙間”の子育て支援を細く長く続けたいと思っています。

（問）子育て支援グループキララ事務所 070-6502-4802

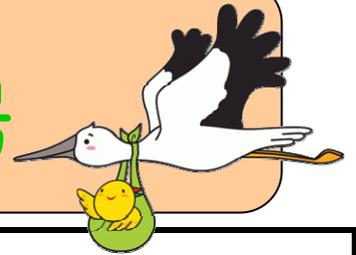
※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課)：E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご

子ども未来通信 11月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw09/hw08_00000002.html

■子育て応援ネット全県大会を開催（10月19日）



地域女性団体ネットワーク会議(連合婦人会など18団体)と県は、500名の参加のもと、地域の子育て家庭を支援する同大会を県公館で開催。下校時の見守り・声かけ・あいさつ運動など10地域の特色ある取組みなどの発表後、「地域ぐるみの子育て支援の新たな展開」をテーマに伊藤篤・神戸大学大学院教授が講演し、子育て支援活動における場所(拠点)の重要性について提案。参加者からは「地域の取組みや講演は参考になるものばかりで、これからの活動に役立てていきたい」などの感想がありました。

(問) 県少子対策課 078-362-4185

■旅館ホテル生活衛生同業組合と子育て応援協定を締結（10月6日）

旅館ホテル生活衛生同業組合(約360の旅館ホテルが加入:奥田眞理事長)と県が、同協定を締結。同組合役員や和服姿の「女将(おかみ)の会」(砂金〈いさご〉美津子会長)メンバーの前で、奥田理事長と井戸知事が協定書に署名、交換。奥田理事長は「女将たちの力添えをもらい、子育て家庭への支援に組合としても、ぜひ取り組んでいきたい」と力強く挨拶。知事からも「県として少子対策、子育て支援に一生懸命取り組んでおり、ぜひよろしくお願ひしたい」とエールがありました。

(問) 県少子対策課 078-362-4184



■兵庫県保育大会を開催（10月17日）



兵庫県保育協会、県などは、三田市内で同大会を開催。保育関係者や保護者など800名の参加のもと、保育士らが創意工夫して作った絵本や玩具等の展示や優秀作品の表彰、作家・玉岡かおる氏の講演などが行われました。知事は「幼児期をどのように過ごし、育てていくかが非常に重要で、保育所機能のアップを図るとともに、保護者のニーズに応え、子どもたちの生活を守りたい」と挨拶。

(問) 県児童課 078-362-3199

■児童虐待防止普及啓発「兵庫を翔ける！笑顔と願いのオレンジリレー」の実施

オレンジリボン・キャンペーンinひょうご実行委員会(兵庫県児童養護連絡協議会、県など)は、地域から地域へ「オレンジのたすき」をリレー形式でつなぎ、虐待のない社会づくりをめざす同リレーを県内5地域6会場を実施します。10月25日には、260名の参加のもと、三田市内で1回目の地域行事を開催し、落語家・桂蝶六さんの講演や市内パレードなどで児童虐待防止をPRしました。(問) 県児童課 078-362-3182



今後の予定	第2回: 11月7日(土) 姫路市民会館	第3回: 11月13日(金) 但馬長寿の郷
	第4回: 11月15日(日) 聖トマス大学	第5回: 11月21日(土) 南あわじ市西淡公民館
	第6回: 11月23日(月) 明石公園	

「まちの寺子屋師範塾」を開催しています

県では、県内 18 大学（22 講座）との連携のもと、様々な子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」を開催しています。修了生には、「まちの寺子屋師範塾修了証」をお渡しています。詳しくは、県HPで“師範塾”で検索。

神戸大学：地域における子育て支援を学ぶ



10月25日
63名に修了証を交付
しました。

神戸親和女子大学：子育てをどう支援するか



第5回講座
10月24日
子どもが元気に育つた
ための支援について学び
ました。

甲南大学：「子育て・家族支援者」養成講座



第1回講座
10月3日
地域における子育て
支援の必要性について
学びました。

姫路獨協大学：ちょっと気になる子どもたちの遊びサポート 発達障害の理解と支援



10月9日
30名に修了証を交付
しました。

神戸女学院大学：子育てと子どものためのサイエンス



第2回講座
10月8日
子どもの肥満問題につ
いて学びました。

園田学園女子大学：そのだ流子育て講座



10月9日
15名に修了証を交付
しました。

関西福祉大学：子どもの心の問題への関わり方



第3回講座
10月25日
不登校など学校に行き
にくい子どもへの支援
について学びました。

神戸山手大学：高齢社会におけるシニアの社会参加



第1回講座
10月16日
シニアの社会参加につ
いて学びました。

神戸女子大学：食と子育てを学ぶ



第3回講座
10月10日
おいしいカルカ
デパンが出来ま
した。

兵庫教育大学：実践で学ぶ子育て支援



第1回講座
9月30日
子育てひろばでの体験
学習のオリエンテーシ
ョンをしています。

芦屋大学：世代間交流と子育て支援



第1回講座
9月26日
世代間交流について
学びました。

受講生 募集中！ 22年1月28日開講

○兵庫大学 全5回

テーマ：東播磨のウェルネスのために

○神戸常盤大学・同短期大学部 全5回

テーマ：子育てと健康

(問) 県少子対策課 078-362-4185

■兵庫県茶道協会と子育て支援協定を締結（10月25日）



県茶道協会（9流派約1,700名が所属）と県が、同協定を締結。締結式には、各流派の理事等も出席し、木津副会長と清原理事兼少子対策本部事務局長が協定書を交換。木津副会長は「子ども茶道教室など更なる子育て支援活動に取り組み、協力していきたい」と力強く挨拶。清原理事は「次の世代の親子に伝統文化を引継ぎ、大切な人の心を伝えてほしい。県も応援していく」と応えました。

（問）県少子対策課 078-362-4184

～子育て応援協定締結企業の取組紹介～

★大和リース株式会社神戸支店（神戸市）

代表者名：支店長 堀越 良一 従業員数：54人

事業内容：仮設建物の賃貸・販売

協定締結日：平成21年9月18日

こんな取り組みをしています！

- ・子どもの誕生日など、計画的な休暇の取得を推進。先輩職員が体験談を語るミーティング
- ・1日最長2時間の育児短時間勤務制度、家族の看護が必要な場合にも取得できる看護休暇制度の導入。
- ・男女がともに育児参加ができる働きやすい環境づくりを目指す「WINGはあとプロジェクト」の推進。



■中学生演劇フェスティバルを開催（10月25日）

県立こどもの館は、神戸・三田・加古川市内の7校の出演のもと、同フェスティバルを開催。「他校の演技が見れ、とても勉強になった」、「一生懸命な生き生きとした演技がよかった」との声が寄せられました。



賞	学校名
こどもの館賞	加古川市立加古川中学校
神戸新聞社賞	神戸市立六甲中学校
神戸新聞社賞特別賞	神戸市立須佐野中学校

（問）県立こどもの館 079-267-1153

■こどもの健康週間大会を開催（10月17日）

こどもの健康週間大会実行委員会は、講演「元気で明るい子どもに育てよう～強く、やさしく、たくましく」、小児救急医療を題材にしたミュージカル、医療・栄養・歯科相談や「まちの保健室」などを催す同大会を延べ408名の参加のもと、姫路市内で開催。参加者からは「子どもの心と体の成長について考える良い機会となった」などの感想が寄せられました。

（問）県健康増進課 078-362-3250



■NPOと行政の子育て支援会議が地域交流会（神戸・淡路）を開催（10月15日）

県から同支援会議運営事業を受託している「ひょうごボランティアプラザ」が、子育て支援関係者等60名の参加のもと、新型インフルエンザにかかるセミナーを開催。片山啓・NPO法人キッズネスト理事長（小児科医）が「正しい予防法や医療知識、医療現場からのアドバイス」など直ぐに使える正しい知識などについて講演しました。



（問）県少子対策課 078-362-4184

■仕事と家庭の両立支援推進セミナーを開催（10月22日）

（財）21世紀職業財団兵庫事務所と県は、県内企業の人事労務担当者など81人の参加のもと、同セミナーを神戸市内で開催。「企業でワーク・ライフ・バランスを推進する意義」と題した黒瀬友佳子さん（帝人クリエイティブスタッフ㈱）の講演後、大井健司さん（P&Gグループ）が自らの体験をもとに育児休業から学んだことなどを紹介。参加者からは「社内勉強会で使える事例等が多く、大変参考になった」などの感想が寄せられました。（問）県しごと支援課 078-362-9183

イベントのご案内（11月11日締切）

■ファミリーコンサート&ふれあい朗読会

日時：平成21年12月5日（土）

午前：10:50～12:00 午後：14:00～15:10

場所：県立こどもの館

対象：就学前の子ども（概ね3歳から）とその家族

内容：第16代うたのおねえさん“神崎ゆうこさん”によるファミリーコンサート
物語の読み聞かせ

定員：午前午後とも250名（定員を超える場合は抽選）

申込方法など詳細は、県HPで「ファミリーコンサート」で検索。

第16代うたのおねえさん
神崎ゆうこさん
がやってきます

団体の活動紹介

■姫路労働者福祉協議会 ～「まちの寺子屋」親子でいも掘り～

姫路労働者福祉協議会（20年12月に知事が「まちの寺子屋」看板第1号を交付）は、クリーンキャンペーン、そばうち教室など親子で参加できる様々なイベントを展開。10月19日には、太市こども園園児など親子74名が、NPO法人はりま悠々クラブの貸農園「楽笑豊作ランド」（姫路市西脇）で、いも掘りを体験。秋空が広がり、園児の笑顔が農園いっぱい。（問）姫路労働者福祉協議会 079-222-3201



■大学コンソーシアムひょうご神戸

～「キッズオープンキャンパス」参加者を募集～

県内の45大学等で構成する「大学コンソーシアムひょうご神戸 地域交流委員会」は、大学等を地域の子どもたちに開放し、スポーツ、食育、文化及び子育て相談などを行う「キッズオープンキャンパス」の参加者を募集しています。詳細は、各大学にお問い合わせください。

大学名	主な内容	実施日	申込・問合せ先
近大姫路大学	遊びながら学ぶ子育て	11/7（土）	079-247-7301
兵庫大学	造形あそび など	11/14（土）	079-427-9551
関西国際大学	キーホルダーづくり など	11/15（日）・12/5（土）	0794-84-3505
姫路獨協大学	チアリーディング体験	11/15（日）	079-223-6593
神戸学院大学	キャンパス探検 など	11/21（土）	078-974-5896
神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部	キッズ“ごっこ”ランド	11/22（日）	078-611-1821
神戸海星女子学院大学	親子で楽しむみんなのひろば	11/22（日）	078-801-2277
神戸松蔭女子学院大学	サイエンス・キッズ・アガミー	12/19（土）	078-882-6159

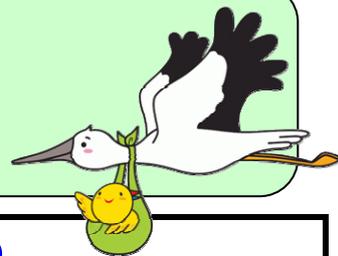
※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局（健康福祉部こども局少子対策課）：E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご 子ども未来通信 12月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw09/hw08_00000002.html



■認定こども園シンポジウムin ひょうごを開催(11月14日)



県立大学姫路新在家キャンパス

全国認定こども園協会と県が共催する同シンポジウムでは、「認定こども園制度の在り方について」と題した今里・厚生労働省保育課長による行政説明やパネルディスカッションなどが行われ、認定こども園を目指す保育所・幼稚園関係者など330名が参加しました。井戸知事は「保育に欠ける欠けないにかかわらず、保育を必要とする子に教育・保育を一体的に提供する施設として、認定こども園には期待している」と挨拶し、会場からは多くの賛同の声が上がっていました。(問)県児童課 078-362-3215

■家庭応援県民大会を開催(11月8日)

ひょうご家庭応援ネットワーク会議と県は、地域で家庭を支えることの大切さについて共に考え、家族の大切さを見つめなおす同大会を開催。「家族の日」写真コンクール、「わが家のルール」の表彰式に続き、わらべうたの実践を交えた講演のほか、「わくわく親ひろば」の実践事例として、親子で一緒に取り組む科学実験や防犯教室などの報告を行い、親学習プログラムの活用などを呼びかけました。(問)県男女家庭室 078-362-3169



ラッセホール(神戸市)

■このとりの会事業10周年記念交流会を開催(10月31日)



神戸ポートピアホテル

農山漁村部の男性と都市部などの女性との出会い・交流を応援する同会は10周年記念交流会を開催。栗原・青少年本部理事長の挨拶と知事メッセージで開会し、大橋清朗・NPO法人花婿学校代表の「交流会必勝アドバイス」や先輩成婚カップル2組によるアドバイス、デートゲームなどが行われ、めでたく14組のカップルが誕生しました。(問)ひょうご出会い支援事業事務局 078-891-7416

■ザ・わかもの座談会でブライダルシャワー体感会を開催(10月31日)

同座談会実践編では、若い世代に地域づくり活動が身近なものであると実感してもらうため、団体やNPO・企業等と連携して、若者がやってみたいと考える活動を主体的に企画・実践中。この一環として、神戸山手短期大学生が、ウエディングで兵庫を活気づけようと、地元企業の協力でブライダルシャワー(披露宴の予行演習・親睦会を兼ねたプレ・パーティ)を、新郎新婦を共に祝う日本版にアレンジして提案しました。

(問)県地域協働課 078-362-4015



■オレンジリボン・キャンペーンin ひょうご「親子ミニコンサート」を開催(11月14日)



オレンジのリボンをシンボルに児童虐待防止を訴える同キャンペーンの一環として、兵庫県児童家庭支援センター連絡協議会は、チョコハウス山びこ保育園(姫路市)にて、40組の親子の参加のもと、ミニコンサートを開催。参加者からは「小さい子どもを連れて音楽を聴く機会は少なく、楽しめた」といった感想が寄せられました。(問)県児童課 078-362-3198

「まちの寺子屋師範塾」を開催しています

県では、県内18大学（22講座）との連携のもと、様々な子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」を開催しています。修了生には、「まちの寺子屋師範塾修了証」をお渡しています。詳しくは、県HPで“師範塾”で検索。

兵庫県立大学 「ICT時代に生きる子どもたち」



第5回講座 11/11
12名に修了証を交付しました
(10～11月・全5回)

兵庫県立大学 「みんなの食生活を考えよう」



第6回講座 11/21
16名に修了証を交付しました
(10～11月・全6回)

兵庫県立大学 「自分を生かした子どもとのかかわり方」



第8回講座 11/21
4名に修了証を交付しました
(10～11月・全8回)

芦屋大学 「世代間交流と子育て支援」



第6回講座 11/14
赤ちゃん人形を使って子育て支援を学びました
(9～11月・全6回)

兵庫教育大学 「実践で学ぶ子育て支援」



第3回講座 11/4
子育て広場で昔の遊び「お手玉」を紹介しました
(9～12月・全5回)

甲南大学 「子育て・家族支援者養成講座」



第5回講座 11/14
これまでの講座のまとめを行いました
(10～11月・全5回)

神戸松蔭女子学院大学 「子育てを楽しく支援するために」



第1回講座 10/17
親子遊びを楽しみました
父親の参加者も増えています
(10～12月・全5回)

夙川学院短期大学 「子どもの今を新たな視点から考えよう」



第4回講座 11/21
五感を使った食育について学びました
(10～11月・全5回)

近大姫路大学 「子どもの未来と子育て支援」



第3回講座 11/21
困った時の対処方法などを具体的に学びました
(11～12月・全5回)

神戸常盤大学・同短期大学部 「子育てと健康」



第4回講座 11/21
子どもの健康について学びました
(11月・全4回)

受講生 募集中！ 22年1月28日開講

●兵庫大学 全5回（H22・1/28、2/4、2/11、2/18、2/25）

テーマ：東播磨のウェルネスのために

締切：12月25日（金）

（問）県少子対策課 078-362-4185

特優賃ハッピー応援プラン

県住宅供給公社の特定優良賃貸住宅では、新規申込者に対して、最長60か月間・最大2万円を補助する「子育て安心プラン」など新生活を応援する4つの補助プラン(対象資格あり)を実施しており、その対象団地が12月1日から大幅に拡大します。

(問) 阪神間の物件：阪神事務所公社住宅募集センター 0798-63-4810

明石市・上郡町の物件：播磨事務所 079-423-0117

■兵庫県鮎商生活衛生同業組合と子育て応援協定を締結(10月28日)

同組合(205店舗が加入:楠秀雄理事長)と県が協定を締結。久保・健康福祉部長が「これからも貴組合の特徴を生かし、食育や伝統食の伝承など、子育て支援の積極的な取組をお願いしたい」と挨拶。楠理事長からは「今までの事業に加え、県との協定締結を機により一層、組合として子育て支援に取り組んでいきたい」と決意表明しました。



■「お寿司」作り教室を開催(11月4日)



協定に基づく協働事業として、子どもたちに寿司作りの楽しさを伝える「お寿司」作り教室を神戸市内で開催。市内の保育園児78人が、巻きずしと握りずし作りに挑戦。味も見た目も、手ほどきをしたプロの職人も驚く出来ばえに子どもたちも大満足で、大人も子どもも笑顔あふれるひとときとなりました。

■兵庫県いずみ会と子育て応援協定を締結(11月16日)

同会(食生活改善ボランティア7,775名が所属:登里倭江会長)と県が協定を締結。締結式では、登里会長と清原・県理事兼少子対策本部事務局長が協定書を交換。登里会長は「この協定締結を励みに食育を通じたさらなる子育て支援に取り組みたい」と決意表明。これに応え、清原理事は「家庭での子どもたちの充実した食習慣を守り育ててほしい。県も応援していく」と挨拶しました。



■兵庫県愛育連合会と子育て応援協定を締結(11月18日)



同連合会(健康づくりボランティア2,573名が所属:白井里佳会長)と県が協定を締結。締結式では、白井会長と清原・県理事兼少子対策本部事務局長が協定書を交換。白井会長は「一層の創意工夫をし、子育て支援に取り組みたい」と力強く挨拶。清原理事は「兵庫の子どもたち、親たちのために声かけで顔と顔をつなぐ支援を続けてほしい。県も応援していく」と応えました。(問) 県少子対策課 078-362-4184

～子育て応援協定締結企業の取組紹介～

★有限会社日笠(ホテルクレール日笠)(姫路市)

代表者名：原 聡 従業員数：30人 事業内容：宿泊・販売業

こんな取組をしています

インターンシップやトライやる・ウィークによる中高生の受け入れや、写経・座禅体験等を親子で行うイベントへの協力など、体験を通じた子どもたちの育成に積極的に取り組んでいます。



厨房での穴子バーガー作り体験

■県立明石学園創立 100 周年記念式典を開催（10月31日）



明治42年10月に「県立土山学園」として創設された同学園は、100周年記念式典を開催。式典では、児童による合唱、学園の運営功労者への知事・園長感謝の贈呈や記念植樹のほか、「初代 早崎園長・2代 池田園長に学ぶ」と題した二井仁美・大阪教育大学准教授による講演が行われました。

(問) 県立明石学園 078-942-1572

■NPO と行政の子育て支援会議が地域交流会（西播磨・阪神）を開催

■「エンジョイ！子育てin播磨」（11月8日）

NPO法人ピア・しんぐうが、親子や子育て支援関係者等400名の参加のもと、同交流会を開催。「命をつなごう次世代へ」をテーマにしたパネルディスカッションでは、パネリストの実践活動報告をもとに、地域の子育て支援のあり方を考えました。また、ボランティアや行政が親子遊びや育児相談など17のブースを出展し、互いに交流を深めました。



■ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム体験交流会（11月15日）

NPO法人市民事務局かわにしが、悩みや関心事をグループで話し合いながら自分にあった子育ての仕方を学ぶ、カナダ生まれの同プログラムの体験交流会を実施。参加者は口々に「お互いに悩みなどを話し合う中で、本当に自分にあった子育ての仕方を見つけることができた」など感想を述べ合っていました。

(問) 県少子対策課 078-362-4184



※2団体とも県から同支援会議運営事業を受託しています。

団体の活動紹介

■乾新町自治会（篠山市） ～「まちの寺子屋」開校～



乾新町自治会は、地域の大人の経験や知恵を活かし、昔あそびなどを通じて、子どもたちに社会のルールを伝える「まちの寺子屋」を開校。地域の子どもたちなど60名が参加した開校式(11月1日)では、看板の除幕や時代劇の上演が行われました。今後は、鹿肉料理教室や読み聞かせ会などを実施する予定です。

(問) 乾新町自治会 079-552-2065

■高砂会（神戸市） ～伝統文化を通じての「まちの寺子屋」を実施～

高砂会は、“芸術の書”の普及に努めるとともに、「まちの寺子屋」に取り組んでいます。子どもたちは、祖父母への日々の感謝の気持ちを表すために伝統文化の一つである折り紙で箸袋を創りました。親子で伝統文化を学びながら、楽しく協力して作業をし、たくさんの笑顔が広がりました。

(問) 高砂会 078-753-0369



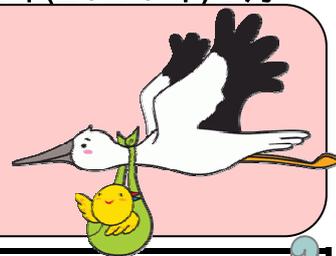
※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課) : E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご

子ども未来通信 1月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_000000008.html

「新」子ども未来プラン策定に向けて 新ひょうご子ども未来プラン策定 協議会を開催 (12月24日)

少子対策の行動計画である同プラン(計画期間H22~26年度)の策定に向けた意見交換を行うため、第2回策定協議会を県公館で開催。吉本副知事が「国において、『子ども手当』の創設など新たな動きが生じており、それらの動きを十分に踏まえて対応する必要がある。新プランが県民の皆様にとってより良いプランとなるようご提言をいただきたい」と挨拶。その後、活発な意見交換が行われました。



(問) 県少子対策課 078-362-4183

子どもを育むまちづくり 「ひょうご女性未来会議 in 宝塚」 を開催 (11月28日)

女性も男性もすべての人がその個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らしていける社会の実現に向けて活動している同



会議は、「子どもを育むまちづくり」をテーマに第18回例会を開催。NPO法人で活躍する講師等が、保育の現場からの熱いメッセージを参加者に伝えました。また、活躍している若手女性3名に、知事から「ひょうご女性未来・縹(はなだ)賞」が贈られました。

(問) 県男女共同参画センター 078-360-8550

官民連携子育て支援推進フォーラム全国リレーシンポジウム兵庫県大会を開催(12月2日) ～「仕事と生活のバランス」の実現を目指して～

内閣府と県は、県内企業経営者や人事労務担当者など約250名の参加のもと、同シンポジウムをラッセホール(神戸市)で開催。「『仕事と生活のバランス』を推進することによって、『活力ある元気な兵庫』が実現できると確信している」との吉本副知事の挨拶で開会。「諸外国の少子化事情から日本の働き方を考える」と題したワークライフコンサルタントのパク・ジョアン・スックチャさんの基調講演の後、「働き方の改革～子育て支援と企業の生産性維持・向上のために～」をテーマに政労使の代表によるパネルディスカッションを実施。参加者からは「中小企業でも取組可能な事例が大変参考になった」との感想が寄せられました。



(問) 県しごと支援課 078-362-9183

ひょうご仕事と生活センターからのお知らせ ～再雇用した事業主への助成～

出産、育児、介護等を理由に離職した方を元の職場に離職時と同等の地位で再雇用した事業主に対して助成します。

対象事業主 常時雇用する従業員が300人以下であること など

助成金額 再雇用者1人あたり50万円
(1社年間2人まで)

但し、短時間勤務正社員として再雇用した場合は25万円

適用日 平成21年6月3日以降の再雇用

(問) ひょうご仕事と生活センター 078-381-5277

「まちの寺子屋師範塾」を開催

今年度の受付は終了しました

県では、県内18大学（22講座）との連携のもと、様々な子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」を開催しています。修了生には、「まちの寺子屋師範塾修了証」をお渡ししています。
詳しくは、県HPで“師範塾”で検索。
(問)県少子対策課 078-362-4185

神戸山手大学 「高齢社会におけるシニアの社会参加」



第6回講座 12/18
シニアによる新社会システム構築について学びました
(10～12月・全6回)

神戸松蔭女子学院大学 「子育てを楽しく支援するために」



第5回講座 12/5
支援者が子どもに対し、どのような支援ができるか討論しました
(10～12月・全5回)

神戸学院大学 「子どもの理解と子育て支援」



第6回講座 12/7
地域での子育て支援について議論しました
(10～12月・全6回)

夙川学院短期大学 「『子ども達の今』を新たな視点から考えよう」



第5回講座 11/28
アートの視点から子育て支援について考えました
(10～11月・全5回)

兵庫教育大学 「実践で学ぶ子育て支援」



第5回講座 12/2
付属幼稚園での実践講座で子育て支援を学びました
(9～12月・全5回)

近大姫路大学 「子どもの未来と子育て支援」



第5回講座 12/5
外国人児童生徒が抱える問題を学びました
(11～12月・全5回)

21年度の修了生は、「まちの寺子屋」を開設するなど、
県内各地で子育て支援ボランティアとして活躍中

県は子育てを応援する企業と協定を結んでいます

仕事と子育ての両立支援や子育て家庭への支援などを進めるため、県と「子育て応援協定」を締結する企業を募集しています。

570社19団体と締結(21年12月28日現在)

< 主な県からの支援 >

- ・商工中金の「ひょうご子育て・男女共同参画応援企業ローン」により、運転・設備資金の貸出金利が最大0.3%優遇されます。
- ・商品パッケージ、広告等に子育て応援協定締結企業である旨が表示できます。

(問)県少子対策課 078-362-4184
商工中金神戸支店 078-391-7541
姫路支店 079-223-8431
尼崎支店 06-6481-7501

～ 締結企業の取組紹介～

グリーン興業株式会社(川西市)

代表者名：前田浩二 従業員数：19人

事業内容：総合建設業

ひょうご出合いサポートセンターに登録し、独身社員の出合いを支援するとともに、もちつき大会など社員とその家族が参加できる行事を実施し、親子のふれあいを積極的に支援しています。



オレンジリボン・キャンペーン in ひょうご (10月25日～11月23日) ～ 児童虐待の防止～

11月の「児童虐待防止月間」に併せ、県では、兵庫県児童養護連絡協議会、兵庫県乳児院連盟等とオレンジリボン・キャンペーン in ひょうごを共催。阪神北・丹波、播磨、但馬、阪神南、淡路の5地域で、子どもたちへのメッセージが書き込まれた「オレンジのたすき」が順次リレーされ、11月23日、最終会場の明石公園にゴールしました。当日は、虐待防止を訴える明石駅周辺のパレード、ヴィッセル神戸の北本、近藤両選手によるトークショー、民生委員児童委員連合会による虐待防止メッセージの呼びかけ、神戸山手女子高校音楽科卒業生有志による童謡コンサートなどが行われました。また、兵庫県理容生活衛生同業組合から県の児童福祉の推進のため、多額の寄付が贈呈され、知事感謝状が授与されました。



(問)県児童課 078-362-3198

県立こどもの館のイベント情報

(問)県立こどもの館 079-267-1153

「ファミリーコンサート&ふれあい朗読会」を開催(12月5日)



NHK教育テレビ「おかあさんといっしょ」第16代うたのおねえさん神崎ゆう子さんによるファミリーコンサートと、FMゲンキ(姫路)のパーソナリティ西田理恵さんによるふれあい朗読会を開催。定員の4倍を超える申込があり、抽選で選ばれた138組478人の家族が参加。コンサートでは、神崎さんが「おもちゃのチャチャチャ」「おおきな栗の木の下で」など、文化庁が選定した「日本の歌百選」から12曲を歌い、子どもも大人も一緒に歌って楽しみました。また、朗読会では、西田さんが「ぐりとぐら」「おおきなかぶ」など4つの話を情感たっぷりに朗読し、参加者全員が聴き入っていました。

朗読コンクールを開催(11月22・23日)

日本のことばを豊かに美しく表現することを通して作者の心を味わう同コンクールを小・中・高校生など147名の参加のもと開催。受賞者からは「本の題材であるスイセンの気持ちになって朗読できたことがよかった」など、喜びの声が聞かれました。



<今後のイベント情報>

平成21年度 児童健全育成推進大会 子どもたちの輝く未来を創るひょうごの大会
2月21日(日) 9:30～15:15

「明石公園リレーマラソン『シャッフル・ラン』(婚カツ・ラン!)」を開催(11月29日) ～ 独身男女の出会いを支援～



ひょうご出会い支援事業の協賛団体である JTB 西日本や明石青年会議所等が、パーティなどとはひと味違った出会いの場を提供。男女60名が混成7チームを結成し、『FUN RUN(楽しみながら走る)』をテーマに42.195km(1周約2.1kmのコース20周)のタスキリレーにチャレンジ。走る順番や1人が何周走るかは自由。フルマラソンの感動を味わい、参加者の距離はぐっと縮まりました。

(問)ひょうご出会い支援事業事務局 078-891-7415

是非、ご活用ください

ひょうご多子世帯保育料軽減事業

県では、3人以上の子どもを育てる世帯に対し、第3子以降の保育料を助成し(所得要件有)、多くの県民の方から好評を得ています。

平成21年4月以降の保育料について助成を行いますので、申請手続がお済みでない方は、お住まいの市町、保育所・幼稚園などを通じてお早めに申請してください。

なお、助成対象者、補助額など詳細は、市町の担当課または県児童課にお問い合わせください。



(問) 県児童課 078-362-3215

携帯電話・インターネット等の親子学習会の開催を支援

県及び兵庫県青少年本部では、インターネット上の有害情報等から青少年を守るため、青少年やその保護者を対象とした携帯電話・インターネットの安全な利用についての学習会等の開催を支援しています。



助成内容：参加者10名以上の学習会開催経費の一部助成(上限：2万円)

対象団体：学校、PTA、婦人会 など

(問) 兵庫県青少年本部 078-891-7410

インターネット安全安心インストラクター(県の養成講座を修了した者)名簿の提供(現在、40名の登録)

(問) 県青少年課：078-362-3142

地域団体・NPOの活動紹介

地域子育て支援拠点研修 近畿ブロックセミナーを開催(12月13日)

こども未来財団とNPO法人子育てひろば全国連絡協議会は、地域子育て支援拠点の意義と役割を検証するセミナーを尼崎市内で開催。

近畿各地から子育て支援に関わる実践者など約300人が参加し、伊藤篤・神戸大学大学院教授による「協働によって広がる子育てひろばの可能性」をテーマとした基調講演や清原・県理事兼少子対策本部事務局長による「ひょうご子ども未来プランとともに」と題した講演などが行われました。午後からは4つの分科会に分かれて、大学での取り組みや企業、商店街等との連携などをテーマに熱心な討論が行われました。



あまがさきキッズサポーターわいわいステーション代表 濱田英世さん

(問) 県少子対策課 078-362-4185

NPOと行政の子育て支援会議が阪神南地域交流会を開催(12月22日)

県から同支援会議運営事業を受託しているNPO法人さんびいすが、子育て支援関係者など約30名の参加のもと、西宮市内で地域交流会を開催。

5月の新型インフルエンザ発生による保育所の臨時休所に関するアンケートの結果報告や子育て支援についての意見交換などがあり、参加者から「様々な課題解決の為にもお互いが共感しあい、つながっていくことが大切」との意見が出されました。



(問) 県少子対策課 078-362-4184

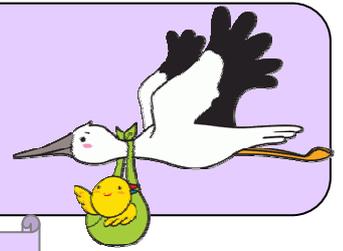
編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課)：E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご

子ども未来通信 2月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_000000008.html

兵庫県連合婦人会と子育て応援協定を締結（1月7日）



兵庫県連合婦人会(北野美智子会長)と県が、同協定を締結。同会役員等が会する新年互礼会において、北野会長と井戸知事が協定書に署名、交換。北野会長は「婦人会の力を結集して、さらに大きく充実した子育て支援活動に取り組んでいく」と、力強く挨拶。井戸知事からは「婦人会の皆さんが、地域連携の中核として、子育て支援などに活躍されている。これからも地域を支える活動を展開されることを期待している」とエールがありました。

(問)県少子対策課 078-362-4184

県は「子育て応援協定」を結ぶ企業等を募集しています

県は、同協定を570社20団体(22年1月7日現在)と締結しており、2月4日には、新たに72社と締結します。

仕事と子育ての両立支援や子育て家庭への支援などを進めるため、同協定を締結する企業等を募集しています。

<主な県からの支援>

- ・商工中金の「ひょうご子育て・男女共同参画応援企業ローン」により、運転金・設備資金の貸出金利が最大0.3%優遇されます。
- ・商品パッケージ、広告等に同協定締結企業等である旨が表示できます。
- ・県広報誌、HP等において、同協定締結企業の子育て支援の取組をPRします。

(問) <協定締結について> 県少子対策課 078-362-4184

<ローンについて> 商工中金神戸支店 078-391-7541 姫路支店 079-223-8431
尼崎支店 06-6481-7501

～締結企業の取組紹介～

株式会社西村風晃園（豊岡市）

代表者名:西村順雄 従業員数:32人 事業内容:建設・園芸用品販売業
旅行など若手社員が参加する社内行事を実施し、独身男女の出会いの場づくりを進めるとともに、トライやる・ウィークの受入により、花の世話や販売など体験活動の場を提供し、子どもたちの健全な育成に積極的に取り組んでいます。



NPOと行政の子育て支援会議

同支援会議は、地域の子育て支援に大きな役割を果たしているNPO・グループと行政が継続して情報を共有し、協働して子育て支援を行う取組みとして平成18年8月に発足。以来、子育て支援を行うNPO等と行政が、お互いにフラットな立場で交流を深めています。(問)県少子対策課 078-362-4184

子育て支援メッセ(2月27日)

同支援会議会員や企業等が実施している子育て支援の活動紹介や情報交換を行い、社会全体で子育て支援を進めていく機運を高めるため、同メッセを開催します。**(参加無料)**

日時：2月27日(土) 12:00~16:30

場所：兵庫県民会館 11F パルテホール

内容

オープニングステージ(12:00~14:30)

和太鼓演奏、よさこいソーラン、体験型ハープ演奏などのステージ

展示・体験コーナー(12:00~16:30)

NPO、大学、企業、行政などの活動展示
・紹介・体験コーナー

会員大募集中

会員同士の交流を通じて、一緒に子育て支援の輪を広げていきませんか。

年会費 正会員 1,000円

賛助会員(企業・団体) 1口 10,000円

(個人) 1口 1,000円

現会員 子育て支援NPO・グループ 111団体

県内全市町(41市町)、兵庫県

子育て支援NPO大懇談会(14:30~16:30)

基調講演(14:30~15:00)

「みんなで支える子育て支援」

講師 伊藤 篤氏(神戸大学大学院教授・のびやかスペースあ~ち代表)

意見交換会(15:00~16:30)

<要申込:2月17日(水)締切>

(問)県少子対策課 078-362-4184

子どもが少子化について考える「子どもリレートーク」(1月24日)



新ひょうご子ども未来プランの策定に向け、子どもたち自身から直接意見を聞くため、神戸・西宮・加古川市内の中高生14名(男子5名、女子9名)の参加のもと、同リレートークを神戸市内で開催。速水順一郎・青少年団体連絡協議会会長の進行により、困った時の相談相手や赤ちゃんを抱いた経験の感想などを言いあった後、新プランへの要望として「三世代が協力しながら交流できる機会づくり」

「のびのびと遊べる場所の確保」などの意見が出されました。プラン策定後もこうしたリレートークを実施し、様々な意見を施策に反映していきます。(問)県少子対策課 078-362-4183

地域団体・NPOの活動紹介

ドマソーラ神戸(兵庫県男女共同参画推進員神戸地域連絡会議)

「子どもたちの未来のために~自尊感情をどう育むか~」をテーマにシンポジウム開催(1月23日)



ドマソーラ神戸では、平成19年に実施した小学生意識調査結果を踏まえ、兵庫自治学会などと共催で、神戸市内において同シンポジウムを開催。パネルディスカッションでは、男女がともにいきいきと暮らすには、大人は子どもに何をどう伝えるべきか話し合い、コーディネーターの勝木洋子・神戸松蔭女子学院大学教授は「豊かな人生を送るには、学校、地域、家庭で子どもが大人と関わる場を増やし、大人も男女共同参画意識をさらに高めることが必要」とまとめました。

(問)県立男女共同参画センター 078-360-8550

宝塚市が「赤ちゃんの駅」を設置



宝塚市は、4月から乳幼児を連れた保護者が安心して外出できるように、市内の公共施設や店舗等で、授乳やおむつ替えなどのできる場所を提供する「赤ちゃんの駅」を設置し、シンボルマークを記した旗やステッカーを掲示します。現在、

民間の店舗や事業所へも登録を呼びかけており、約50ヶ所を目標としています。また、子育て中のお母さん方の協力を得て、「赤ちゃんの駅」の場所を盛り込んだ「おでかけマップ」も作成中で、4月に配布予定です。(問)宝塚市子ども家庭支援センター

0797-85-3862

子育て応援ネットワーク交流大会を開催(1月23日)

阪神北県民局は、100名の参加のもと、宝塚市内で同大会を開催。児童虐待に関する相談件数は年々増加しており、特に子どもの生命が奪われるなど重大な事件も後を絶たない状況を踏まえ、坂本正子・甲子園大学教授が事例を交えながら、虐待の予防と早期発見、早期対応の方法などについて講演。引き続き行われたパネルディスカッションでは、実際に現場で子どもの見守り・声かけ、子育て相談などの活動をしている子育て家庭応援推進員や主任児童委員などが、地域ぐるみで子どもを守るためのネットワークのあり方について議論し、児童虐待問題について理解を深める良い機会となりました。



(問)阪神北県民局県民協働課 0797-83-3136

県立こどもの館のイベント紹介

(問)県立こどもの館 079-267-1153

「創作あそび」を開催(12月26日)

身近な素材を使って、いろいろなものを工夫して製作することにより創ることの楽しさを味わい、豊かな創造性を養う「創作あそび」。今回は、20家族・55人が力を合わせて大きなおかしの家をつくりました。

柱や屋根、壁は牛乳パックをつなげて作り、内壁にはみんなで描いたおかし絵を、外壁にはリサイクルの空箱や毛糸、カップ等を工夫して作った思い思いのおかしを貼付け、「このドーナツ、本物みたい」と友だちの作ったおかしに感心していた子どももいました。



＜今後のイベント情報＞ 参加無料

第3回伝統文化体験活動指導者養成講座(ボランティア研修会) 申込期限:2月27日(土)

伝統文化を子どもたちやその保護者に伝えていく活動を支援する養成講座を開催します。

日時 3月6日(土) 10:45～12:45

定員 40名

講師 高砂京子氏(書家・高砂会代表)

内容 生活を豊かにする水引飾り

是非、ご活用ください

「子どもの救急ガイドライン」と 「新型インフルエンザって どんな病気？」パンフレット作成

県では、社団法人兵庫県医師会と協働のもと、かかりつけ医(小児科医)をもつことの大切さや家庭における子どもの病気への対処方法、新型インフルエンザの基礎知識や対応方法等について、正しい知識を身につけ、誰もが適切に対応できるように啓発パンフレットを作成しました。イラスト等を活用して、わかりやすく解説し、乳幼児の親や保育所・幼稚園等の職員に配布しています。

なお、このパンフレットは、県HPからダウンロードできます。

[兵庫県 子どもの病気への対応](#)

検索



(問)県少子対策課 078-362-4185

ひょうご多子世帯保育料軽減事業

県では、3人以上の子どもを育てる世帯に対し、第3子以降の保育料を助成し(所得要件有)、多くの県民の方から好評を得ています。

平成21年4月以降の保育料について助成を行いますので、申請手続きがお済みでない方は、お住まいの市町、保育所・幼稚園などを通じてお早めに申請してください。

なお、助成対象者、補助額など詳細は、市町の担当課または県児童課にお問い合わせください。

(問)県児童課 078-362-3215

「ひょうご子ども・若者応援団」助成事業

県青少年本部は、公益財団法人への移行(H21年4月)に伴い、寄附金に関する税の優遇措置を活用して募金活動に努め、託された寄付金を原資として、同事業を実施する青少年団体・グループ等を募集しています。

対象団体：青少年の健全育成事業を行っている団体・グループ(その他条件あり)

対象事業：青少年の社会参加、非行防止活動 など
助成額：事業費の1/2以内で1件あたり10万円を限度

◆期限：3月1日(月)

[22年度 ひょうご子ども・若者応援団](#)

検索

(問)県青少年本部 078-891-7410

イベントのご案内

参加無料

仕事と子育ての両立に向けた【仕事と子育て】セミナー&カウンセリング(3月2日締切)

仕事と子育ての両立をするためのヒントや気持ち・課題を整理する機会を提供し、スムーズな再就職へ結びつけることなどを目的として同セミナーを開催します。

日時：3月6日(土) セミナー 10:00~11:30

カウンセリング 13:00~ 14:10~ 15:20~(各回2名、50分)

場所：県立男女共同参画センター セミナー室

対象：女性(これから仕事と子育てを両立しようと考えている方 など)

定員：セミナー30名、カウンセリング6名(先着順)

一時保育：1歳半から就学前まで 12名(要予約・無料)

問合せ先：県立男女共同参画センター 078-360-8550

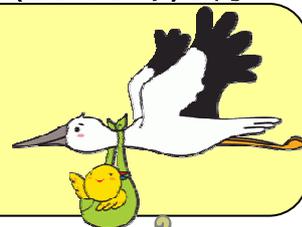
編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課)：E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご 子ども未来通信 3月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_000000008.html



県が「子育て支援」等に重点配分した予算案を発表（2月10日）



井戸知事は、平成22年度当初予算案を発表し、厳しい財政環境にあっても「選択と集中」を徹底して、少子対策・子育て支援などの喫緊の課題に取り組むことを表明。予算案には、都市部の待機児童対策、郡部において子どもたちが一定の集団の中で育つ場の確保のための、保育所並びに認定こども園の整備、小学4年から中学3年までの子どもの入院医療費にかかる自己負担の1/3の助成、中小企業が育児・介護休業取得者の代替要員を確保した際の賃金の一部助成なども新たに盛り込まれています。（問）県少子対策課 078-362-4232

ザ・わかもの座談会で公募カップルによる人前結婚式を開催（2月19日）

地域づくり活動に取り組んでいる若者が一堂に会し、それぞれの取組を発表する同座談会 - 実践編 - 結ゆいの会を神戸市内で開催。発表会の前には、経済的な理由などで挙式できなかったカップル2組の人前結婚式が行われ、花嫁は神戸服装専門学校生のデザインによるウェディングドレスを身にまとい、立会人代表として出席した井戸知事ら100人が祝福しました。（問）県地域協働課 078-362-4015



国が「子ども・子育てビジョン」を策定（1月29日）

このたび国は、今後の子育て支援の方向性を示す「子ども・子育てビジョン」を発表しました。同ビジョンでは、基本的考え方として以下の2点を掲げています。

1 社会全体で子育てを支える

子どもを大切にする
ライフサイクル全体を通じて社会的に支える
地域のネットワークで支える

2 「希望」がかなえられる

生活、仕事、子育てを総合的に支える
格差や貧困を解消する
持続可能で活力ある経済社会が実現する

また、目指すべき社会への政策4本柱を、「子どもの育ちを支え、若者が安心して成長できる社会へ」、「妊娠、出産、子育ての希望が実現できる社会へ」、「多様なネットワークで子育て力のある地域社会へ」、「男性も女性も仕事と生活が調和する社会へ」として、各種施策を推進していくこととしています。

さらに、平成26年度までに平日昼間の保育サービスを26万人増の241万人に、放課後児童クラブを30万人増の111万人にするなどの具体的な数値目標を盛り込み、社会全体で子育てを支え、個人の希望する結婚、出産、子育てが実現できる社会を目指しています。

（問）県少子対策課 078-362-4184

県と「子育て応援協定」を締結する企業・団体が広がっています

県は、安心して子どもを産み育てられる職場環境づくりや地域の子育て支援活動に取り組む企業72社との協定締結式を2月4日兵庫県公館で開催。協定締結は、570社・22団体となりました。締結式では、清原・県理事兼少子対策本部事務局長が協定書を各社に手渡し、各企業からは子育て応援の取り組み状況やエピソードについて紹介がありました。

同協定を締結する企業・団体を引き続き募集しています。

(問)県少子対策課 078-362-4184



子育て応援協定締結式

兵庫県薬剤師会と協定を締結（2月17日）

兵庫県薬剤師会（東和夫会長、会員6,857名）と県が同協定を締結。同会では今後、この協定に基づき、地域における身近な薬局として、子どもの健康と薬に関する相談、店舗内への授乳・おむつ交換のスペース設置、ひょうご出会いサポートセンターへの登録促進など順次取り組んでいくことを表明されました。



社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会と協定を締結（2月7日）

県内27地域の青年会議所（1,243事業所）からなるJC兵庫ブロック協議会（坂上功治会長）と県が同協定を締結。県内全JCの代表等が見守る中、坂上会長と協定書を交換。来年度、県内27箇所で、中学生が地域の未来を考えるイベントを開催するほか、会員に対し、子育て応援協定の締結やひょうご出会いサポートセンターへの会員登録を働きかけていくことを表明されました。



<県も支援します>

- ・公共事業入札参加資格の技術・社会貢献評価の点数8点加算
- ・事業所内保育施設設置費の助成（限度額750万円）
- ・商工中金「ひょうご子育て・男女共同参画応援企業ローン」の運転資金・設備資金貸出金利、最大0.3%優遇

<ローンのお問合せ>商工中金 神戸支店:078-391-7541 姫路支店:079-223-8431 尼崎支店:06-6481-7501

「こども医療費助成制度」をスタートします（4月1日～）

県は、次世代を担う子どもの健全な育成を支援するため、小学4年生から中学3年生までの入院医療費にかかる自己負担の一部を新たに助成する制度を、平成22年度兵庫県当初予算案に盛り込みました。

助成額:医療保険の自己負担(3割)の1/3

所得制限:市町村民税所得割税額23.5万円未満

医療費の助成を受けるためには、一旦医療機関等の窓口で医療保険の自己負担をお支払いいただいた後、お住まいの市町窓口へ領収書を持参して、手続きをしていただく必要があります。

なお、市町により、対象となる方や自己負担額及び手続き方法が異なる場合がありますのでご注意ください。

(問)県医療保険課 078-362-3190

県立こどもの館で「子どもたちの輝く未来を創るひょうごの大会」を開催（2月21日）



子どもが健やかに育つ地域づくりをテーマに約400名の参加のもと同大会を開催。地域で親子に伝承あそびなどを伝える「ひょうご あそびの伝承師」（今年度208名認定、次年度以降も養成講座を開催）に吉本副知事から認定証が手渡され、基調講演では、佐々木正美・川崎医療福祉大学特任教授が、あ



そびを通して子どもの創造性や想像力、社会性が育まれることなどを呼びかけました。

パネルディスカッション

わらべうたDVDをダビングサービス

「ひょうご あそびの伝承プログラム」の1つとして、「乳児親子のわらべうた」「幼児親子のわらべうた」「仲間あそびのわらべうた」の34曲のわらべうたを収録したDVDを作成。ダビングサービスを行っていますので、是非ご活用ください。（問）県立こどもの館 079-267-1153

新ひょうご子ども未来プランへの意見を募集（3月9日締切）

県HPに同プラン案を掲載しています。[新ひょうご子ども未来プラン](#)と

[検索](#)

安心して子どもを生み、大切に育てていくことができる社会づくりを一層進めるため、少子対策、子育て支援策などを盛り込んだ同プランを策定中です。県民の皆様のご意見をお待ちしています。

<提出方法> E-mail：県少子対策課アドレス「shoshi taisaku@pref.hyogo.lg.jp」あてメール送信

F A X：県少子対策課 F A X 番号「078-362-3011」あて送信

郵便：〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 県少子対策課あて郵送
様式自由ですが住所・氏名・電話番号をご記入願います。（問）県少子対策課 078-362-4183

市町事業の紹介

◆多可町 「家族の絆を深めるための親業講座」

多可町は、子育て最前線で日々奮闘している皆様のお役に立つ講座を展開中。第1弾として、2月24日に31名の参加のもと「なるほど・ザ・子育て～叱り方で子どもを育てる三つの法則をおしえます～」と題した講演会を開催。参加者から「自分の信じるところに自信も持てたし、反省もできた」と感想が寄せられました。



（問）多可町教育委員会社会教育課 0795-32-1250

地域団体・NPO等の活動紹介

◆甲南大学生生活協同組合 自分らしく生きようセミナー（2月16日）



同組合は、「子育て応援協定」に基づく協働事業として、甲南女子大学と共同で同セミナー「これが私の生きる道」（女子学生編）を開催。井野瀬久美恵・甲南大学教授の進行により、学生から就活や仕事と家庭の両立についての問題提起を受け、パネリストたちは個性を磨き自分らしさを表現することの大切さや、仕事と子育ては両立できることなど、経験を踏まえたアドバイスとエールを送りました。

（問）甲南大学生生活協同組合 078-451-1371

地域団体・NPO等の活動紹介

◆NPO 法人北播磨市民活動支援センター

「小児医療をいっしょに考えるフォーラム」
(1月31日)

同法人は、「西脇小児医療を守る会」の協力を得て、北播磨の小児医療の現状や子どもの急病時によくある症状とその対処法などを学ぶ同フォーラムを小野市内で開催。地域の全市町から参加があり、「あつまり・つながり・わかちあう」という目的に沿った世代・地域・男女の垣根を越えた交流が行われました。



(問)北播磨市民活動支援センター 0794-63-8156

◆兵庫県茶道協会

「子ども茶道教室」(2月6日)

同協会は、子育て応援協定に基づく協働事業として「子ども茶道教室」を県下10か所で開催。東灘区での教室では、小学校低学年の親子30名が参加し、伊久宗美先生から礼儀作法や茶筌を使ったお茶の点て方、お菓子・抹茶のいただき方を習いました。参加した子どもたちは次回の教室を楽しみにしていました。



◆篠山市日置校区まちづくり協議会

子育てほっとステーション日置開所式
(2月15日)

同協議会は、近隣の親子等50人の参加のもと、親子がくつろげるたまり場である同ステーションの開所式を開催。整備までの苦労話や今後の意気込みなどが披露され、親子あそびのコーナーでは、参加者は歌やゲームなどを楽しみました。今年度、子育てほっとステーションは県内12ヶ所で展開。



◆NPO 法人生涯学習サポート兵庫

地域子育て力アップ支援事業(11~2月)

同法人は、子育て支援の現場ですぐ使える親子あそびやクラフト、コミュニケーションの方法などを習得し、地域の子育て支援者がスキルアップを図るとともに、支援者自身が元気になるための講座(計4回)を開催しました。



(問)NPO 法人生涯学習サポート兵庫 079-230-0661

◆ 社団法人全国子ども会連合会

同連合会は、読み聞かせの重要性・必要性を認識してもらうとともに、子ども会を中心に継続的に読み聞かせ会が実施できるよう、全国で読み聞かせ指導者を養成しています。

子どもと大人の読み聞かせパーティー in 明石 (参加無料、3月12日締切)

日時：3月21日(日)10:00~12:00

場所：魚住市民センター

対象：幼児(原則4歳以上)~小学生、保護者

定員：子ども50名(先着順)

内容：ペープサート(紙人形劇)、パネルシアター、紙芝居 など

読み聞かせの勉強会・読み聞かせ指導者養成セミナー in 明石(参加無料、3月12日締切)

日時：3月21日(日)10:00~17:30

場所：魚住市民センター

対象：子ども会等青少年団体の指導者、保育士、幼稚園教諭 など 定員：50名(先着順)

内容：ペープサート・パネルシアターの公演と演習、読み聞かせの演習 など

(問)社団法人兵庫県子ども会連合会 078-221-4081

編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課)：E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp